

X. 学芸員資格取得に関する委員会

授業評価の回収率は、講義形態が 70.27%、演習形態が 81.54%と、昨年度より微増した。以下、集計データから読み取れることを記す。

1. 授業への取り組み

<Q1.出席率>の評価点は、講義 4.53、演習 4.63 であり、平成 18 年度とほぼ同様の高い数値を示しているが、<Q2.意欲>の項目が、講義 3.49、演習 3.92 と、いずれも 4 ポイントに達していないことを重く受け止めなくてはならない。本部門の科目は、資格取得に特化した科目であって、受講者は履修の目的意識が明確である、すなわち受講の動機付けが高いと推察される。とするならば、<Q2.意欲>の評価点は 4 ポイントを越える高い数値を目指さねばなるまい。受講者の授業に対する積極的な参加意欲をいっそう高める授業経営の工夫に向かって、今後さらなる努力が必要であると考ええる。

2. 授業のレベル、速度

<Q3.授業のレベル>、<Q4.進める速さ>の項目は、授業形態によって若干の差はあるものの、それぞれ、講義 4.54、4.70、演習 4.81、4.86 と高い評価を得ている。

3. 教員の熱意や授業技術など

<Q5.教員の熱意>、<Q6.教室内の維持>、<Q7.理解しやすさ>、<Q8.話し方>の項目に関して、演習は 4.39、4.41、4.46、4.49 と、いずれも 18 年度の数値とほぼ同様で変化なく、高い評価を得ているといえよう。いっぽう、講義では、4.19、4.02、3.98、4.10 と、決して低い評価ではないものの、やや数値が低い。この差は、大枠としては演習と講義の形態に関連すると考えられるが、18 年度の評価点がそれぞれ 4.41、4.23、4.15、4.23 であったことを考えるならば、総体的に下がっていることが問題となる。部門での問題意識を共有し、この授業評価を授業にフィードバックさせ、授業技術の見直しや練磨、そしてなによりも教員の熱意の伝達に努めたい。なお、講義形態での<Q11.板書やスライド提示の適切さ>、<Q12.配布資料の適切さ>は、3.97、4.10 との評価点であり、いずれもより適切な、わかりやすく充実した資料提示に努めたい。それによって、<Q7.理解しやすさ>のポイントも上がることとなろう。演習形態での<Q11.発言や議論の促進>、<Q12.課題取り組みへの支援>の評価点は、4.02、4.40 であった。課題取り組みへの支援は、<Q5.教員の熱意>の評価と連動していると考えられる。<Q11.>に関しては、博物館実習という科目の特性はあるものの、受講者の発言や議論の場をできる限り設けるといった授業参加促進の配慮を検討していきたい。

4. 満足度

＜Q9.知的好奇心＞、＜Q10.総合評価＞の項目は、演習形態は 4.58、4.48 と、18 年度とほぼ変化なく、高い評価を得ている。講義形態では 4.17、4.08 と、他の項目の場合と同様に、それ自体は低い評価ではないものの、18 年度の 4.20、4.27 と比べた場合、若干の数値減退が見られる。

5. 総論

講義形態、演習形態、いずれの項目も全科目の平均を下回ることはなく、とりわけ授業のレベルや進め方に関しては、適切であるとの評価点が高いことが目立った。総じて、演習形態では評価点が高く、昨年度からの減退もなく、かなりの満足度が示されているといえよう。講義形態では、「教員の熱意」や「資料提示の適切さ」など、評価点そのものは低いとはいえないものの、18 年度に比べるとやや減退が見られた。とりわけ「理解しやすさ」の評価点の減退を、教員は重く受け止め、授業運営や授業技術を見直し、向上を目指さねばならない。わかりやすい授業・意欲をかき立てる授業への教員の努力・教員の授業に対する熱意の伝達と、履修者の満足度や参加意欲は、相関関係にあると考えられる。この評価結果をふまえ、各教員がそれらをフィードバックして、授業運営を見直すとともに、学芸部門全体での意識の向上を更にはかかっていく必要がある。高出席率に対する参加意欲のやや低調な数値という現状を、真摯に受け止め、受講者と教員相互が共に構築する授業経営をいっそう実りあるものとするべく努めたい。



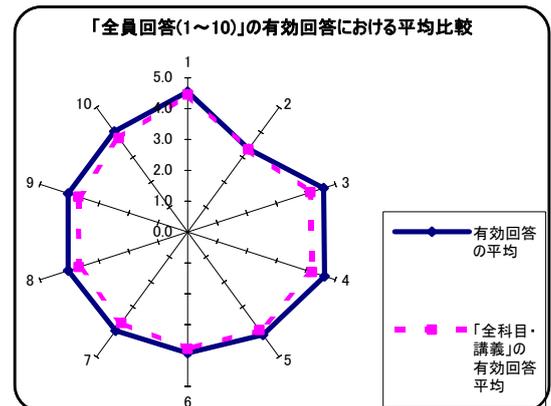
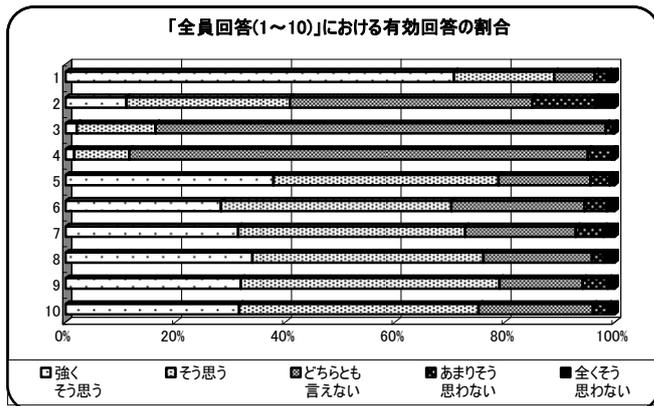
学習院大学 平成19(2007)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

	合計	総履修者数	回収率
回収数	643	915	70.27%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	452	117	47	15	8	4	643	4.55	0.829	4.53	0.220
			70.30%	18.20%	7.31%	2.33%	1.24%	0.62%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	71	190	282	74	22	4	643	3.33	0.940	3.49	0.417
			11.04%	29.55%	43.86%	11.51%	3.42%	0.62%	100.00%				
	3	この授業のレベルについて 5:高すぎる 4:やや高すぎる 3:適切である 2:やや低すぎる 1:低すぎる	13	92	524	8	2	4	643	4.59	0.915	4.54	0.345
			2.02%	14.31%	81.49%	1.24%	0.31%	0.62%	100.00%				
	4	この授業を進める速さについて 5:速すぎる 4:やや速すぎる 3:適切である 2:やや遅すぎる 1:遅すぎる	10	64	532	28	3	6	643	4.63	0.876	4.70	0.414
			1.56%	9.95%	82.74%	4.35%	0.47%	0.93%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	242	262	107	22	6	4	643	4.11	0.870	4.19	0.325
			37.64%	40.75%	16.64%	3.42%	0.93%	0.62%	100.00%				
6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	181	268	155	26	9	4	643	3.92	0.900	4.02	0.287	
		28.15%	41.68%	24.11%	4.04%	1.40%	0.62%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	201	264	129	32	13	4	643	3.95	0.948	3.98	0.403	
		31.26%	41.06%	20.06%	4.98%	2.02%	0.62%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	217	268	126	14	12	6	643	4.04	0.892	4.10	0.360	
		33.75%	41.68%	19.60%	2.18%	1.87%	0.93%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	204	301	97	29	8	4	643	4.04	0.875	4.17	0.271	
		31.73%	46.81%	15.09%	4.51%	1.24%	0.62%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	201	277	132	17	8	8	643	4.02	0.864	4.08	0.295	
		31.26%	43.08%	20.53%	2.64%	1.24%	1.24%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	193	225	151	48	8	18	643	3.88	0.979	3.97	0.359
			30.02%	34.99%	23.48%	7.47%	1.24%	2.80%	100.00%				
12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	199	250	140	25	10	19	643	3.97	0.921	4.10	0.353	
		30.95%	38.88%	21.77%	3.89%	1.56%	2.95%	100.00%					





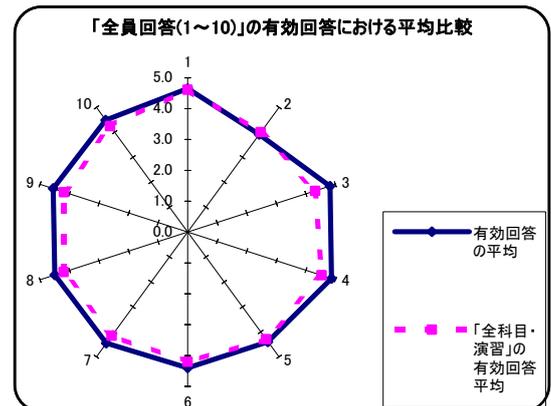
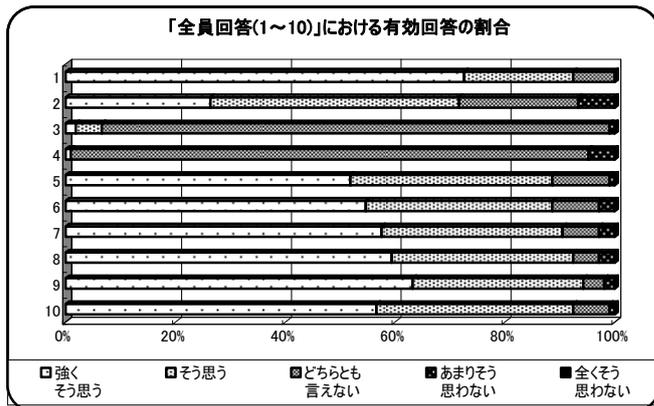
学習院大学 平成19(2007)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

	合計	総履修者数	回収率
回収数	106	130	81.54%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	77	21	8	0	0	0	106	4.65	0.618	4.63	0.264
			72.64%	19.81%	7.55%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	28	48	23	7	0	0	106	3.92	0.863	3.92	0.418
			26.42%	45.28%	21.70%	6.60%	0.00%	0.00%	100.00%				
	3	この授業のレベルについて 5:高すぎる 4:やや高すぎる 3:適切である 2:やや低すぎる 1:低すぎる	2	5	98	1	0	0	106	4.81	0.705	4.81	0.218
			1.89%	4.72%	92.45%	0.94%	0.00%	0.00%	100.00%				
	4	この授業を進める速さについて 5:速すぎる 4:やや速すぎる 3:適切である 2:やや遅すぎる 1:遅すぎる	1	0	100	5	0	0	106	4.87	0.570	4.86	0.126
			0.94%	0.00%	94.34%	4.72%	0.00%	0.00%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	55	39	11	1	0	0	106	4.40	0.713	4.39	0.387
			51.89%	36.79%	10.38%	0.94%	0.00%	0.00%	100.00%				
6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	58	36	9	3	0	0	106	4.41	0.766	4.41	0.366	
		54.72%	33.96%	8.49%	2.83%	0.00%	0.00%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	61	35	7	3	0	0	106	4.45	0.745	4.46	0.445	
		57.55%	33.02%	6.60%	2.83%	0.00%	0.00%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	63	35	5	3	0	0	106	4.49	0.720	4.49	0.384	
		59.43%	33.02%	4.72%	2.83%	0.00%	0.00%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	67	33	4	2	0	0	106	4.56	0.663	4.58	0.261	
		63.21%	31.13%	3.77%	1.89%	0.00%	0.00%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	60	38	7	1	0	0	106	4.48	0.665	4.48	0.355	
		56.60%	35.85%	6.60%	0.94%	0.00%	0.00%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	33	42	23	3	0	5	106	4.04	0.824	4.02	0.271
			31.13%	39.62%	21.70%	2.83%	0.00%	4.72%	100.00%				
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	51	39	10	1	0	5	106	4.39	0.707	4.40	0.341
			48.11%	36.79%	9.43%	0.94%	0.00%	4.72%	100.00%				



相関係数表 部門名 学芸員
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.295(**)	1										
Q3	.0026	.0017	1									
Q4	-.0061	-.0075	.472(**)	1								
Q5	.132(**)	.350(**)	.102(*)	.0059	1							
Q6	.103(**)	.314(**)	.142(**)	.168(**)	.565(**)	1						
Q7	.104(**)	.314(**)	.299(**)	.281(**)	.547(**)	.605(**)	1					
Q8	.062	.206(**)	.212(**)	.297(**)	.476(**)	.569(**)	.740(**)	1				
Q9	.137(**)	.426(**)	.130(**)	.102(*)	.612(**)	.490(**)	.598(**)	.534(**)	1			
Q10	.145(**)	.405(**)	.253(**)	.244(**)	.628(**)	.585(**)	.742(**)	.674(**)	.742(**)	1		
Q11	.160(**)	.295(**)	.158(**)	.210(**)	.481(**)	.433(**)	.629(**)	.578(**)	.507(**)	.617(**)	1	
Q12	.095(*)	.297(**)	.170(**)	.229(**)	.536(**)	.511(**)	.665(**)	.597(**)	.580(**)	.672(**)	.714(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14
Q1	1											
Q2	.301(**)	1										
Q3	.197(*)	.0036	1									
Q4	.246(*)	.0054	.411(**)	1								
Q5	.382(**)	.0179	.0112	.013	1							
Q6	.222(*)	.240(*)	.0108	.342(**)	.697(**)	1						
Q7	.0181	.194(*)	.345(**)	.232(*)	.538(**)	.543(**)	1					
Q8	.196(*)	.0175	.0184	.0066	.564(**)	.465(**)	.789(**)	1				
Q9	.0153	.333(**)	.0105	.0045	.516(**)	.489(**)	.526(**)	.539(**)	1			
Q10	.297(**)	.337(**)	.0114	.0169	.739(**)	.679(**)	.729(**)	.655(**)	.661(**)	1		
Q13	.319(**)	.292(**)	.0148	.220(*)	.337(**)	.402(**)	.213(*)	.264(**)	.236(*)	.314(**)	1	
Q14	.405(**)	.320(**)	.0073	.0083	.483(**)	.532(**)	.368(**)	.390(**)	.389(**)	.510(**)	.523(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた